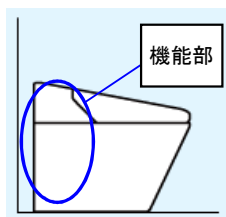
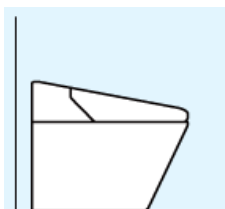


■シャワートイレ一体型便器



便器あるいはロータンクとシャワートイレの機能部が一体化しているもの

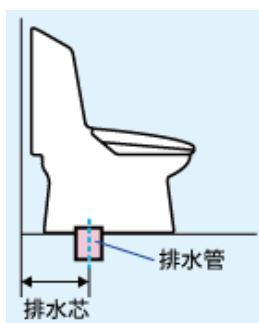
■タンクレス



便器洗浄のためのロータンクがないタイプの便器

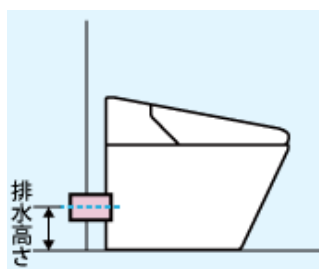
■排水芯・排水高さ

排水芯



床排水便器で壁から排水管までの寸法

排水高さ



床上排水便器で床から排水管までの寸法

■凍結防止対策(寒冷地区分)

寒冷地では便器と給水装置それぞれで凍結防止が必要です。大きくは水抜方式と流動方式があります。便器と給水装置それぞれで気候条件などに合わせた方式を選び、双方を組み合わせた対策を取ってください。詳しくはカタログを参照してください。

●便器の凍結防止

水抜方式、流動方式、ヒーター方式、室内暖房方式、および これらを組み合わせた(併用)方式が選べます。

●給水装置の凍結防止

水抜方式、流動方式があります。流動方式は水を便器に流す方式です。

●水抜方式の概要

建物の給水配管の水を抜くとともに、付随する設備機器で水抜栓などを操作することで、給水配管、設備機器の水を抜いて、凍結を防止する方法です。

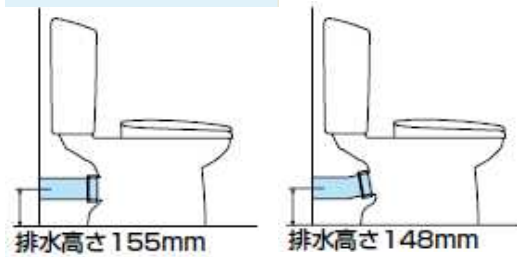
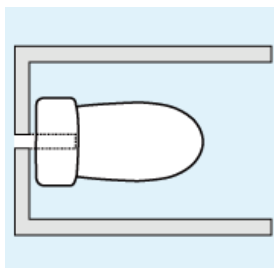
●流動方式の概要

設備機器についている流動バルブを操作し、常に一定量の水を流し、水の動きにより凍結しにくくする方法です。

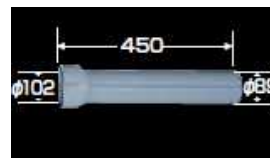
■ 床上排水 — — — 後抜き、横抜き

● 後抜き

排水が便器後方の壁となる排水方向です。



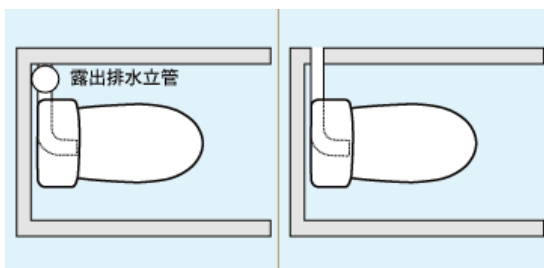
使用される排水用部材の例



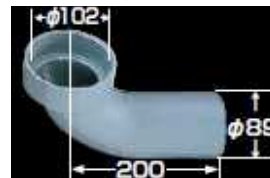
(φ102は内径、φ89は外径)

● 横抜き

排水が室内排水立管や便器の左右の壁となる排水方向です。



使用される排水用部材の例

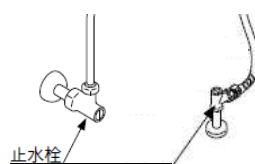


(φ102は内径、φ89は外径)

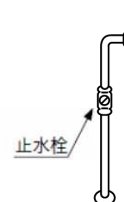
■ 止水栓 — — — アングル止水栓・ストレート止水栓

アングル止水栓とは通水の経路が直角方向(90度)に曲がるものを、ストレート止水栓とは通水の経路が同一方向のものを指しています。

アングル止水栓



ストレート止水栓

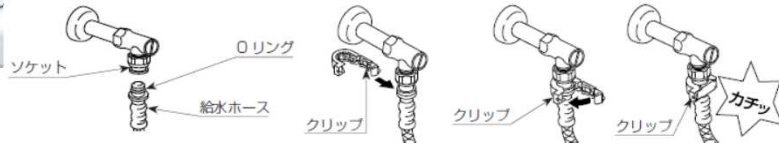


■ 給水接続 — フレキホース・サプライ管

フレキホース



床・壁、左・右給水に対応でき、サプライ管のような切断の必要がないフレキホース仕様。さらに給水接続もワンタッチで確実に接続できるクイックジョイントです。



サプライ管



サプライ管は長さ調節のためにパイプカッターによる切断が必要です。便器の洗浄タンクでは止水栓本体側は基本的に差込式で十分な差込しろが必要です。

■ 排水接続 — フランジ・排水ソケット

フランジや排水ソケットは便器と排水管を接続するための部材です。

●フランジ

- ・鉛管用の金属製フランジと塩ビ管用の樹脂製フランジがあります。
- ・便器の排水部との接続部にはシール材(ガスケット)を使用します。

●排水ソケット

- ・塩ビ管用で、排水ソケットのパッキン部分に便器の排水部分を差込むスリップイン方式の接続です。排水管とは接着剤で接続します。
- ・VP100、VU100、VP75、VU75の4種類の配管に対応可能な排水ソケットもあります。

フランジ、排水ソケットの例

フランジ



鉛管用

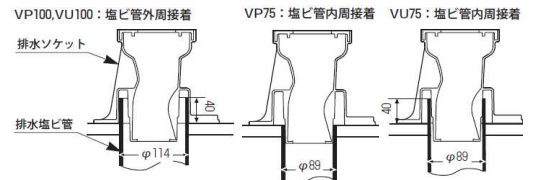


塩ビ管用

排水ソケット



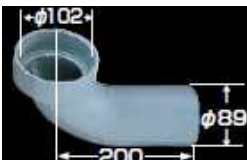
排水ソケット(4種配管対応の例)



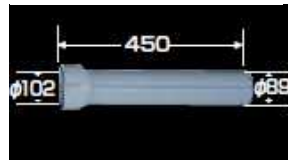
■ 排水用バンド管・排水用直管

バンド管、排水用直管の例

バンド管



排水用直管



排水用バンド管・排水用直管は床上排水タイプの洋風便器と排水管を接続する部材です。接続する排水管によって塩ビ製や鋼管製などがあります。

(φ102は内径、φ89は外径)

■ 給排水統合タイプ(リトイレタイプ)

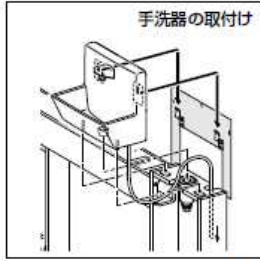
既存の給排水を利用して新しい便器と手洗器の給排水を行います。

1 キャビネットを設置



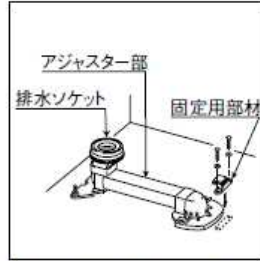
キャビネットを①②③の順に置くことで位置決めができます。

2 手洗器給排水管取付け



手洗器を取り付けます。給排水の接続はワンタッチでカンタン。

3 排水ソケットと便器を設置



リトイレ便器と同じように排水ソケットを設置し、便器を固定します。

4 給排水を接続



手洗分岐栓を取り付け、各給水ホースを接続。手洗排水ホースも排水ソケットに接続。



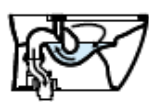
■ 洗浄方式

洗浄方式を示すもので、日本工業規格で定義される便器の種類を示すものではありません。



エアドライブ式

水と空気の利用してしっかりと洗浄。静かな洗浄音で、深夜の使用も気にな



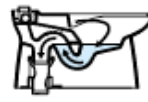
パワードライブ式

パワードライブユニットで加圧した水を利用して洗浄する方式。一定の圧力で静かにしっかりと強力で洗い流します。



ダイレクトバルブ式

水道の圧力をそのまま利用して洗浄する方式。タンクへの給水がなく、連続使用が可能です。



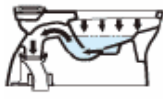
サイホン式

サイホン作用で汚物を流す洗浄方式です。



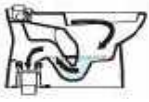
ワイドボルテックス式

溜水面の広さがサイホン式同等の新洗浄方式です。



サイホンゼット式

便器上部と便器底のゼット口から洗浄水を流す方式です。



ネオボルテックス式

洗落しに比べて溜水面が広く、洗浄音が静かな方式です。

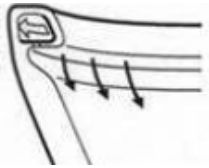


洗落し式

溜水面は狭い方式です。和風便器に比べネオイは少なくなります。

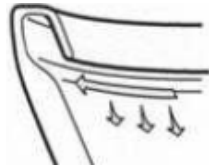
■ リム

クローズドリム (ボックスリム)



洗浄水は小穴から流れ出ます。

オープンリム



小穴部分をカットし水切れのよい、オープンな形状です。

汚れカット形状



オープンリムをさらに進化させ、汚れやすい部分をまるごとカット。

フチレス形状



奥も手前も便器のフチを丸ごとなくし、サッとひと拭き、お掃除ラクラクです。

■ 防露タンク・防露便器

室温と水温の温度差によって便器周辺やタンク表面に生じる「結露現象」。これを放置すると、床に落ちた結露水が建物に損傷を与えることがあります。結露しにくい防露便器、防露タンクをお選びください。防露便器・防露タンクでも室温と水温の温度差や湿度の条件により結露し、床をぬらすことがあります。結露に備えた床材(クッションフロア・タイルなど)のご使用をお薦めします。なお、結露した場合はすぐふき取るようにしてください。また、換気扇を回したり、窓を開けたりしてトイレの換気をしていただくと結露を軽減できます。

結露の発生を抑える防露便器・防露タンク



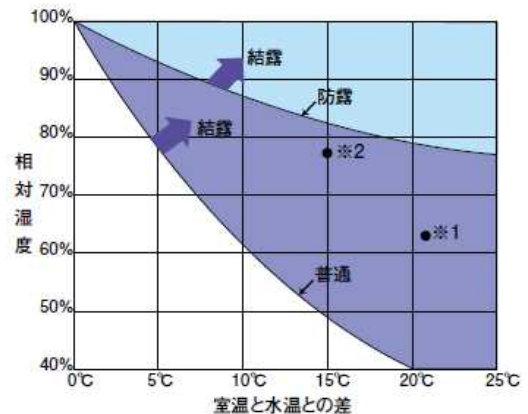
断熱材により「防露」を施したタンク



防露便器断面図

防露便器・防露タンクは、高い防露効果を持ち結露の発生を大幅に軽減させます。

便器・タンクの結露限界図



■ 曲線が高い位置にあるほど、結露しにくいことを示します。

※1 冬の暖房を行った室内(室温24℃・水温3℃) 相対湿度64%の場合

…普通便器・タンクは結露しますが、防露便器・タンクは結露しません。

※2 夏期の高湿多湿時(室温30℃・水温15℃) 相対湿度78%の場合

…普通便器・タンクは結露しますが、防露便器・タンクは結露しません。

(注)上記表については、気象状況により多少誤差があります。防露便器、防露タンクでも室温と水温の温度差が15℃以上で、湿度が80%に達すると結露することがあります。

■ 洗浄水量、実容量

● 実容量

タンク式の便器で古く用いられていたもので、便器洗浄水用としてタンクに貯められる水量中の有効水量のみの水量をいい、規定水量まで貯水された状態にて、ハンドルを操作しフロート弁が閉じるまでに流出する水量を示します。(ボールタップからの給水をしない。)

● 洗浄水量

現在用いられているもので、上記の実容量がボールタップが閉じた水量であるのに対して、実容量にボールタップからの給水分も含めた、実際に流れる水量です。

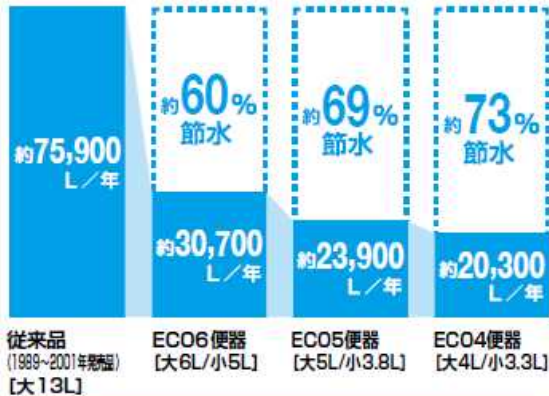
■ 節水

● W節水

大洗浄の水量を従来の節水便器から低減し、かつ大小切替機構を採用して、小洗浄を可能にしたものです。時期により、大10Lー小8Lの洗浄水量のタイプと大8Lー小6Lの洗浄水量のタイプがあります。

● ECO6、ECO5、ECO4の効果

節水



ECO4では年間約**14,700円**節約できます。

ECO5では年間約**13,800円**節約できます。

ECO6では年間約**12,000円**節約できます。

【試算条件】4人家族(男性2人、女性2人)が大1回/人・日、小3回/人・日使用した場合で算出。【引用元】省エネ・防犯住宅推進アプローチブック【単価】上下水道:265円/m³(税込)



超節水トイレシリーズなら、従来品^{※1}に比べ、2日でおフロ1杯分以上^{※2}(超節水ECO4の場合は2日で305L。超節水ECO5の場合は2日で280L。超節水ECO6の場合は2日で248L)節約できます。

※1 1989~2001年発売品
 ※2 おフロ1杯を180Lで計算

■ シャワートイレ——省エネルギーラベル(省エネ基準達成率)

省エネルギー法のトップランナー基準による省エネ性能を示すもので、省エネ基準達成率100%以上の商品は緑色、100%未満の商品はオレンジ色のマークを、省エネ基準達成率、年間消費電力量とともに表示しています。「省エネ基準達成率」は、省エネルギー法に定められた目標年度に対する達成率を示しています。%の数値が大きいほど

表示例(電気便座)

	省エネ基準達成率 100%	年間消費電力量 135kWh/年 (179kWh/年)		省エネ基準達成率 85%	年間消費電力量 215kWh/年 (302kWh/年)
目標年度 2012年度			目標年度 2012年度		

温水洗浄便座・暖房便座の消費電力量測定基準について

省エネ法に基づいて、湯沸かし方式などの種類別の算定式により、4人家族(男性2人、女性2人)で1日あたり16回使用した場合を基準に便座部は季節別、温水部は年平均で年間消費電力を算出したものです。

タイマー節電機能は、一般家庭でのタイマー平均使用時間(7.7時間)で算出しております。

温水洗浄便座・暖房便座の消費電力量について

年間消費電力量は、2012年度基準に基づく測定で()内はタイマー節電を使用しない場合の年間消費電力量です。消費電力量は、季節によって異なることから、「年間あたり」の値にしています。実際にお使いになるときの消費電力量は、周辺温度や機器の温度設定、節電機能などの使い方によって変化しますので、あくまでも目安としてご覧ください。

■ シャワートイレ給水方式

● 貯湯式

一定温度に温めて保温された温水をあらかじめ温水タンクに貯え、温水を出す方式です。貯えている温水を使うので、たっぷりの湯量で洗浄できますが、洗浄時間が長くなると温水温度はだんだん低下します。

● 瞬間式(連続出湯式)

使用の都度、瞬時にヒーターで温めて温水を出す方式です。使用時に温める方式のため、長時間使用しても

■シャワートイレーースローダウン便座、脱臭機能、温風乾燥

シャワートイレで古くからある機能ーースローダウン便座、脱臭機能、温風乾燥について説明します。これらの詳細、この他の機能については商品ごとに異なるため、カタログ等を参照してください。

●スローダウン便座

便座と便フタがゆっくり降りて閉まる機能です。衝撃音をやわらげます。今ではどの機種にも搭載されている機能です。

●脱臭機能

脱臭機能は、脱臭ファンで便鉢内のニオイを吸引し、脱臭カートリッジでニオイをとります。脱臭カートリッジの交換の目安は現在は7年になりました。基本的には使用者の便座への着座をセンサーで検知して作動するものですが、機種によっては複数の作動モードから設定選択できたり、ターボ脱臭などへの能力切替など、作動状態の選択が可能になるなど多機能になってきています。

(古くは、脱臭カートリッジ式ではない排気脱臭方式や、脱臭カートリッジの交換の目安が1年のものもありました。)

●温風乾燥

シャワーの後に温風乾燥を使用することでぬれた部分にさっぱり感を与えます。温風温度の切替のほか、機種によっては温風始動温度の切替えができるものもあります。